

2024年度(令和6年度)使用  
福山市立小学校用教科用図書採択結果について

種 目	発行者名	教科書名	採 択 理 由
国語	光村図書出版	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年で、「言葉のたから箱」を設け、「人物を表す言葉」「事物を表す言葉」「心情を表す言葉」などとして、3項目に分けて示している。二次元コードにより、下学年の言葉を見ることができる。</li> <li>○ 第2～6学年「読むこと」の単元では、学習（手引き）に「問い」と「目標」を設定し、4つの学習過程に沿って、学習課題や課題に取り組むための視点、言語活動の例を示している。</li> <li>○ 第1～4学年は上下巻2冊、第5・6学年は1冊構成である。全学年で、複数の領域を相互に関連づけた複合単元を設定している。第3学年以上には、「読むこと」の単元1つにおいて、教材文を読むための導入教材〔練習〕を配置している。年間総単元数は、第1学年：11単元（下巻のみ）、第2学年：19単元、第3・4学年：15単元、第5・6学年：14単元である。（小単元を除く）</li> <li>○ 第2～6学年で、学習の進め方を示している。また、領域ごとに当該学年で学ぶこと（教材名・身に付けたい力・学習用語）と前学年の学習内容を対比させる形で示している。</li> <li>○ 第2～6学年で、話し合う単元を1つずつ設定している。第6学年では、自分たちが中心となって行う活動について、目的や条件を明確にし、グループで話し合う活動を示している。</li> </ul>
書写	光村図書出版	書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3～6学年で、「考えよう」として、整った文字の書き方を考えたり話し合ったりする活動、目標を示している。</li> <li>○ 第3～6学年で、「学習の進め方」として「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程を、各教材の下段に示している。観察や比較を通して整った文字の書き方を考え、実際に書いたり話し合ったりして確かめ、学習したことを生かして、鉛筆で書く構成としている。また、全学年で、二次元コードにより、書く際のポイントや気をつけることを動画で確かめて書くことができるようにしている。</li> <li>○ 書写の歴史については、第1学年で漢字の成り立ち、第2・3学年で、筆記具の製造法、第4～6学年で身近な文字や手書き文字と活字、文字の歴史などを示している。全学年で、平仮名・片仮名の表を示している。伝統的な言語文化に関する内容は第3～6学年で示し、ことわざ、俳句、古文などを取り上げている。</li> <li>○ 第3～6学年で、教材文字の右上に穂先の通り道を示した写真を配置し、「生かそう」に書き込み欄を設けている。</li> <li>○ 全学年で、「書写広げたい」として、お礼状、手紙、リーフレット、インタビューメモ、パンフレットなど、国語と連動したり他教科に生かしたりする教材を2つ以上設定している。第2～5学年で、連絡帳、ノート、新聞などの例を書くときのポイントとともに示し、第6学年では、学習したことを日常生活に広げる「書写ブック」を綴じ込んでいる。第2～6学年の巻末に「資料」として原稿用紙の使い方、都道府県の漢字などを示している。</li> </ul>

<p>社会</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新編 新しい社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年で、見開きページに「どのように～でしょうか」「どのような～でしょうか」など、1 単位時間のめあてを問いかけの形態で示している。</li> <li>○ 第 3・4 学年及び第 5 学年上と第 6 学年政治・国際編で、「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程を示している。単元ごとに「学習問題」を示し、表現活動でまとめを行う「まとめる」のページを設けている。</li> <li>○ 自然災害から人々を守る活動について第 4 学年で取り上げ、千葉県自然災害を扱い、導入としてさまざまな自然災害（2 ページ）、続けて風水害（16 ページ）を掲載している。発展として和歌山県和歌山市の地震（2 ページ）、長野県大滝村御嶽山の火山災害（2 ページ）の順に掲載している。</li> <li>○ 二次元コードにより、導入の動画やインタビュー動画、ワークシート、学び方の解説、クイズなどを見ることができる。</li> <li>○ 第 6 学年では、戦後の日本の変化について「現在の社会に重要なえいきょうをあたえたできごとを一つ選ぼう。」「そのできごとが、現在にどのようなえいきょうをあたえたのかを考え、文章にしてみよう」などとして、図、表、せりふ、カード、ノート、新聞、キャッチフレーズなどを用いた言語活動を提示している。</li> </ul>
<p>地図</p>	<p>帝国書院</p>	<p>楽しく学ぶ 小学生の地図帳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二次元コードを掲載しており、各都道府県のテーマごとの地図や日本や世界の統計地図を閲覧したり、地図の使い方について説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。</li> <li>○ 全般にわたり、キャラクターの吹き出しなどで、図の活用や各地の様子などを紹介している。「広島市の原爆による被害状況」など、地域の特徴的な内容を紹介している。「持続可能な開発目標（SDGs）」でSDGsの17の目標の背景にある課題を説明するイラストを掲載し、各地の特徴的な生活や取組について写真で紹介している。</li> <li>○ 日本の各地方を広く見渡す地図に始まり、日本とそのまわりを見渡す地図、日本の各地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引の順で配列している。各地域を比較できるように、日本の地図において、各地方を広く見渡す地図は160万分の1、各地方図は100万分の1（北海道は160万分の1）と50万分の1、都市圏図は5万分の1で示されている。世界の地図においては、各州の全体図が4000万分の1で示されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字情報を読み取りやすくするため文字を縁取りしている。色覚特性のある児童も判別しやすくするため、「田」、「畑」、「建物が密集しているところ」、「果樹園」、「山地や丘陵地」、「牧草地」の凡例には色の下に地紋を入れている。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しで、具体的な観察の視点を示している。「トライ!」、「地図マスターへの道」のコーナーで、地図を活用する問いを掲載している。</li> </ul>

算数	日本文教出版	小学算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4学年「分数」では、「いろいろな分数」「分数の大きさ」「分数のたし算とひき算」の3つのまとまりで構成している。既習内容を確認する活動を2ページ分設けている。数直線やテープ図、面積図などで分数の表し方を考える活動を設けている。</li> <li>○ 第2～4学年上巻、第5・6学年の巻頭「さあ、算数の学習を始めよう！」として、「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「ふり返ろう」と、問題解決の過程を4つ示している。</li> <li>○ 第5・6学年「はってん中学1年」、第6学年巻末「もうすぐ中学生」などでは、中学校の学習内容を位置付けている。</li> <li>○ りすのキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして、問題解決の見通しや方法を示している。第6学年「データの調べ方」では、データからドットプロットを作成し、2つのデータを比較したり、2つの棒グラフの違いについて話し合う活動を設けている。また、動画、アニメーション、シミュレーション、問題、ヒントなどのデジタルコンテンツがあり、二次元コードからアクセスできる。全学年で838個示している。</li> <li>○ 第4学年「面積」では、方眼上にあるL字型の面積を求める課題を提示している。自分の考えを書いたり、友達の考えを説明したり、自分の考えと友達の考えをくらべて、いつでも使える考えはどれかを話し合ったりするなどの活動を設けている。</li> </ul>
理科	東京書籍	新編 新しい理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年で、問題をつかむための活動「レッツトライ！」に、「～考えよう。」や「～してみよう。」などの呼びかけの形で、学習のめあてや視点を示している。単元末には、「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。また、学習内容の定着を図るための「たしかめよう」を設けるとともに、最後には、「学んだ後に〇〇について、知っていることをかこう。」と呼び掛けている。</li> <li>○ 巻頭に、問題解決の流れとして、「理科の学び方」を設け、1本の矢印で工夫して示している。各単元では、活動の写真や課題発見までの対話の具体例を示している。</li> <li>○ 第4～6学年で、「理科の世界 探検部」を中心に、防災・減災に関する内容を掲載している。第6学年「電気と私たちの暮らし」では、プログラミングの体験に関する内容を掲載している。</li> <li>○ 全学年で同じキャラクターが登場し、青枠内に「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを示している。また、巻末に学習内容を整理した資料を掲載している。</li> <li>○ 巻末に、「発表のしかた」「話し合いのしかた」として、発表や話し合いの際の留意点を示している。また、「のぼそう！理科の力」では、理科の見方・考え方や、デジタルコンテンツを示し考えやすいように工夫している。また、単元によっては、児童の対話的活動も示している。</li> </ul>

生活	大日本図書	新版 たのしい せいかつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会との関わりについて、飲食店、郵便局、交番、図書館、消防署、和菓子屋、醤油屋などで働く人と児童がかかわる様子を写真で示している。自然との関わりについて、上下巻を通して同じ場所のイラストを使い、校庭の季節の変化を示している。</li> <li>○ 下巻「楽しさ ひろがれ わたしの おもちゃ」では、児童4名が廊下で風を利用して動くおもちゃで遊ぶ写真、「楽しそうな おもちゃだね」という吹き出し、二次元コード（動画）を記載している。</li> <li>○ 上巻は「なかよし」、下巻は「はっけん」という共通の単元名を設定し、季節の流れに沿った大単元で構成している。上巻は140ページで、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を6ページ分示している。下巻は128ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を22ページ分示している。</li> <li>○ 5名の児童と先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を促している。「せいかつことば」マークで、語彙力の向上や言語能力の育成を図る言葉を、「きらきらことば」マークで、友だちとのスムーズな交流を支える言葉を示している。「がくしゅうどうぐばこ」マークで関連資料のページを示し、「きもちマーク」が振り返り、「SDGs」マークは身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</li> <li>○ 下巻「わたしの町はっけん」では、見つけたことなどをタブレットや電子黒板で報告したり、紙芝居、地図などを使って発表したりする活動を示している。</li> </ul>
音楽	教育芸術社	小学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名は見開き左側に縦書きで、「せんりつのとくちょうをかんじとろう」などと示している。学習目標は、見開き左上に「せんりつの音の上がり下がりにつけてききましょう」などと示している。学習目標達成のための支援として、「見つける」「考える」のマークを付け、旋律の流れをイラストで示している。</li> <li>○ 音楽づくりでは、第1学年「はくによってリズムをうとう」の学習目標「たんとたたをつかってことばでリズムをつくりましょう。」において、リズムを「たん＝円(黒)」「たた＝半円」「うん＝円(白)」と示すとともに、言葉と併せて5つのリズムの例を示している。二次元コードを読み取ると、リズムのもとになる絵を選択してリズムをつくるデジタルコンテンツが活用できる。</li> <li>○ 歌唱では、第3学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱、第5学年から三部合唱を導入している。器楽では、合奏曲を第1学年から配置している。</li> <li>○ 音楽を形づくっている要素については、見開き右下に「音色」「せんりつ」などを示している。全学年巻末の「ふり返りのページ」に、音楽を形づくっている要素を関連するページ番号とともに示している。</li> <li>○ 第6学年「詩と音楽の関わりを味わおう」では、学習目標を「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう」としている。「見つける」「考える」「歌う」のマークを付け、言語活動として、表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面、音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面を設定している。</li> </ul>

<p>図画工作</p>	<p>日本文教出版</p>	<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材ごとに、資質・能力の3つの柱に基づいた目標を3種類のマークで示している。学びに向かう力、人間性等の涵養へとつなげるために、活動を通して、どのような気付きや学びがあったのか、学習を振り返るための視点を示している。</li> <li>○ 第1・2学年（下）では、「であって 生まれる いろのせかい」という鑑賞の特設ページで、作品の見方や考え方を深め、「ふしぎなたまご【絵】」等の表現に生かす等、鑑賞と表現を関連付けた学習活動を設定できるように工夫されている。</li> <li>○ 題材を5項目に分類して配列している。掲載している作品等にサイズを明記している。題材数は、第1・2学年で47、第3・4学年で42、第5・6学年で39である。鑑賞の項目における題材数は、第1学年から第4学年までは3、第5・6学年は2である。</li> <li>○ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</li> <li>○ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話例を示している。さらに、第3学年以上は「ともだちのさくひんをみてはなそう」の特設ページを設け、作品を見て感じたことや、友達と話し合う活動を示すことで言語活動の充実を促している。</li> </ul>
<p>家庭</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新編 新しい家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、実習や製作のページには、「できたかな」として、自己評価の囲みを14か所掲載し、ステップごとに「ふり返ろう」を設けている。また、デジタルコンテンツが使用できる部分には「D」マークがあり、ページ右上の二次元コードから、動画やワークシート、資料を活用することができる。</li> <li>○ 「生活を変えるチャンス！」では、「A 家庭・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」と対応したページに、3つの例を掲載し、また、夏休みわくわくチャレンジとして、学習したことを実践している場面を2か所示している。</li> <li>○ 各教科等や中学校の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習、中学校の学習との関わりを見てみよう。」として、丸を重ねたマークを34か所示し、教科等名、学年、単元概要を示している。</li> <li>○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインのフォントを使用し、巻末には、作業する手元を拡大した実物大の写真に掲載している。</li> <li>○ 生活をよりよくするための方法を考えたり、調べたり、やってみたり、話し合ったり、交流したりする活動を「活動」のマークで示している。</li> </ul>

保健	東京書籍	新編 新しい保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通事故の防止で自転車に乗るときの基本的なルールと、自動車の特性について、イラストと解説を掲載している。自転車に乗るときのルールでは、「自転車安全利用五則」、自動車の特性では、「自動車の停止きより」と「内輪差」が示されている。また、動画で確認できるように、二次元コードがついている。</li> <li>○ 各単元の導入で、見通しを持たせるための記述及びイラストを掲載し、学習のイメージとゴール（目標）を図示している。振り返りでは、単元末に「学習を振り返ろう」として、自己評価をする活動や書く活動を設定しており、二次元コードによるワークシートを掲載している。</li> <li>○ 各小単元末に「資料」として、学習内容と関連した、今日的な健康情報を示している。</li> <li>○ 単元「体の成長とわたし」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを13か所掲載している。自分の体の成長に気付くため、実際の大きさの乳幼児の靴や手形の写真を掲載している。</li> <li>○ 単元「こころの健康」では、自分の考えを書く活動を12か所掲載している。不安や悩みへの対処の方法について、自分の生活をふり返ったり、友達に聞いたことを記入したりする活動を設定している。</li> </ul>
英語	光村図書出版	Here We Go!	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助動詞 can の文及び文構造に繰り返し触れる機会を、第5学年で4単元、第6学年で4単元設定している。</li> <li>○ 第6学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では、見開きページを活用して、黒板に貼られた世界地図の上を示す設定で日本を含む10か国について、国名、国旗、特徴的な建物や動物、食べ物などの写真を掲載するとともに、登場人物である英語の先生が児童とやり取りしながら、それぞれの国を紹介する様子の映像を見て聞く活動のほか、ゲームを設定し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>○ 第6学年では、8つの単元を設定し、4技能5領域の活動を示すマーク数は、聞くこと51、読むこと20、話すこと[やり取り]45、話すこと[発表]20、書くこと20である。</li> <li>○ 別冊資料として、各学年「Picture Dictionary」を付属している。</li> <li>○ 第6学年 Unit 8「My Best Memory」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、1つ目の「Let's try.」でいちばん思い出に残った学校行事を友達と伝え合う活動、2つ目の「Let's try.」で思い出に残る行事で、行った場所やしたことなどを友達と伝え合う活動、「Let's speak」で小学校生活の一番の思い出を発表する活動を設定している。</li> </ul>

<p>特別の 教科 道徳</p>	<p>学研教育みらい</p>	<p>新版 みんなの道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発問は、全学年で、教材文の終わりの「考えよう」に記載している。第1学年「しんせつにすると気持ちがいい」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「おおかみは、なぜ、まえよりずっといい気もちになったのかな」など、2つの発問を示している。</li> <li>○ 問題解決的な学習を行う教材は、全学年で、「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークで示し、学習過程の例を発問とともに示している。</li> <li>○ いじめ問題を扱った教材は、いじめの問題をテーマにした複数の内容項目の教材を特設ページとともに配置し、全学年で目次及び該当ページに「いじめ防止」マークを付けて示している。第5学年では、主題名「不正に立ち向かう強さ」で、「C-13 公正、公平、社会正義」の内容項目の教材として、「いじめをなくすために」を選定している。</li> <li>○ 全学年で、巻頭には、目次の前に「詩」を掲載している。巻末には、「つなげよう 広げよう」を設け、巻頭と連動したページになっている。全学年で、Webにつながるマークとともに資料等にリンクする「二次元コード」を示している。</li> <li>○ 全学年で、巻末「つなげよう 広げよう」に、心に残った話や言葉・人に伝えたい言葉・自分へのメッセージを記述する欄を設けている。</li> </ul>
--------------------------	----------------	----------------------	---